



安全で満足度の高い無痛分娩を目指して

「さながら熟した栗の実が風に吹かれて殻から落ちるように自然らしく、殆ど苦痛らしい苦痛を感じずに産をした」1916年、五男を出産した歌人・与謝野晶子は無痛分娩の体験をこう表現しています。当時は麻薬と鎮静薬を筋肉注射する方法でしたが、現在では脊髄を包んでいる膜（硬膜）の外側に管を留置し薬剤を投与する「硬膜外麻酔」が主に行われ、この方法では下半身の痛みだけを取るため、妊婦さんの意識は清明で赤ちゃんへの影響も殆どありません。

「陣痛は激増しているがその苦痛はこれまでの産の五分の一ぐらいにしか当たらない」晶子のように難産の経験のある経産婦さんでは無痛分娩の満足度は高いのですが、初産婦さんでは期待していたほどではなかったと感じる方もおられます。痛みゼロを目指して高濃度の局所麻酔薬を投与すると、分娩の進行が止まる、胎児娩出時に上手くいきめないなどの弊害が起こり易くなるため、低濃度の局所麻酔薬と少量の麻薬を使用し我慢できるレベルの痛みを目指します。

麻酔科 永川 保



近年では、専用の機器を用い投与方法を工夫することで使用薬剤の減少と鎮痛効果の増強が可能となりました。

当院での無痛分娩の実績は400件にのぼり、これまで重篤な合併症の事例は皆無ですが、今後も安全な無痛分娩を提供できるよう産科医、助産師・看護師、麻酔科医によるチーム医療を推進してまいります。



PCAスマートポンプ



産科病棟スタッフとの危機対応シミュレーション
(23名参加)

8月分

研修・講演・勉強会のご案内

1. 地域連携症例検討会

予告

※8月の開催はありません。

日時：9月10日(火) 19:00~20:15 場所：当院3階 講堂

内容：①症例検討 2例(外科・小児科)

②ミニレクチャー (担当) 神経内科



2. 内科CPC

※今月の開催はありません。

3. 緩和医療部会学習会

日時：8月6日(火) 17:45~19:15

場所：地域医療研修センター

○テレビ会議システムを利用したライフステージ事例検討会

4. 糖尿病研究会定例学習会

※今月の開催はありません。

5. 感染予防対策学習会

※すべて同じ内容です。

日時：8月2日(金)

①15:00~15:35 ②17:30~18:05

8月19日(月)

①12:15~12:50 ②15:00~15:35

8月27日(火)

①12:15~12:50 ②17:30~18:05

場所：講堂

○テーマ：血液培養陽性症例での抗菌薬の適性使用
当院での抗菌薬使用状況

○講師：抗菌化学療法認定薬剤師 加藤 由香里

6. 褥瘡対策学習会

日時：8月30日(金) 17:30~18:00

場所：301会議室(旧集団指導室)

○テーマ：褥瘡対策用具の選び方

○講師：看護師 田谷 由美子

7. NST学習会

日時：8月26日(月) 17:30~19:00

場所：講堂

○テーマ：①嚥下障害について

②嚥下障害のケアについて

○講師：①耳鼻いんこう科・頭頸部外科

辻 亮

②摂食・嚥下障害看護認定看護師

山本 美絵

8. 看護研修

※衛星研修S-QUEシリーズは、予約申込みが必要です。
ふれあい地域医療センターへご連絡ください。
(TEL076-422-1112代表 内線2989)

《看護補助者研修会》※①②とも同じ内容です。

日時：8月9日(金)

①13:30~14:30 ②15:00~16:00

場所：講堂

○目的：看護助手として必要な技術を取得する。

○内容：車椅子、ストレッチャーの移乗について

○対象者：看護補助者

《衛星研修S-QUE Eナース》

①テーマ：Q&Aから紐解く！

エビデンスに基づいた感染対策

視聴期間：8月14日~9月9日

②テーマ：患者全体像をどう伝えるか

~ADL評価を学ぶ

視聴期間：8月27日~9月20日

《衛星研修S-QUE 新特別企画》

○テーマ：人材確保・定着・育成プロモーション
ワークシェアリングを考える

視聴期間：8月2日~9月27日

第6回 地域連携医療機関対象 エコーハンズオンセミナー(腹部初級編)

【日時】 令和元年9月15日(日)

14:00~16:30 (途中入退室可)

【場所】 当院 3階 301会議室(旧集団指導室)

【内容】

①ミニレクチャー

「とりあえず当ててみよう！腹部エコー初級編」

今から検査を始める方。実際に検査は行っているが、検査に不安がある方。基本を再確認したい方を対象とし、肝・胆・脾・腎を中心に腹部エコーの基礎のお話をしていきます。

②腹部エコーハンズオン

※ハンズオンは原則医師のみを対象とします。

※ハンズオンは希望制です。希望される方は事前にお知らせください。(ハンズオンの見学は自由です)

※当日要望がありましたら、腹部エコー以外のハンズオンも可能です。

参加をご希望の方、ハンズオンをご希望の方は、ふれあい地域医療センターまでご連絡ください。

ふれあい地域医療センター

TEL 076-422-1112 (代) 内線2103

FAX 076-422-1154 (直)

主催：富山市民病院 臨床検査科



院内の専門職員のご紹介

排尿ケアチームの活動について

早期の尿道カテーテル抜去と適切な排尿ケアの実施により、尿路感染症の減少やADLの維持、スムーズな在宅復帰の実現のため、2016年度の診療報酬改定で排尿自立指導料が保険収載されました。

当院の尿道留置カテーテル使用率は、全国平均よりも高く、抜去を試みずに転院される事例もみられました。このことから当院では、不要な尿道留置カテーテルを1日でも早く抜管することに重点を置き、2016年9月排尿ケアチームを立ち上げ、2019年3月まで延べ1567人の患者さんと関わってきました。排尿ケアチームは、排尿に関するケアに係る専門的知識を有した多職種からなるチームで、泌尿器科医師、認定看護師、看護師、理学療法士、作業療法士で構成し活動しています。

該当患者さんは、尿道カテーテル留置中の入院患者さんで、

皮膚・排泄ケア認定看護師

青木 かずみ



尿道カテーテル抜去後に下部尿路機能障害を生ずると見込まれる方とその症状を有する方です。排尿ケアの流れは、①病棟看護師が対象患者をスクリーニングします。②該当患者さんがいる場合、毎週火・木曜に排尿ケアチームが病棟をラウンドし、病棟看護師や患者さんに排尿ケア指導をします。③病棟看護師や理学療法士・作業療法士などによるケアを実施します。必要に応じて泌尿器科医による検査や治療を実施します。④一週間後に下部尿路機能や自立度を再度評価しケア指導を行います。

排尿ケアチームが活動を開始してから一人当たりの平均留置期間は、介入前後を比較すると1日短縮し成果がみられています。引き続き、排尿ケア指導を行い、尿路感染の予防、早期退院、寝たきり患者さんの減少に努めていきたいと思っています。

医師不在のお知らせ

※外来担当日の休診のみ掲載

8月

科 名	医 師 名	不 在 日	科 名	医 師 名	不 在 日
内 科	打 越	15日	呼吸器・血管外科	湖 東	20日、21日、22日
	野 村 智	30日		土 岐	15日、16日
	水 野	16日		武 内	23日
	山 田	21日	精 神 科	長谷川雄	28日、30日
	並 木	16日		伊 東	19日
外科・消化器外科・乳 腺 外 科	寺 田	1日、8日		西 田	15日
	佐々木	2日	泌 尿 器 科	齊 藤 隆	9日
	竹 下	5日 7日		高 瀬	20日、22日、23日
脳 神 経 外 科	毛 利	13日、14日、16日		新 澤	7日
整 形 外 科・関 節 再 建 外 科	澤 口	9日、16日、27日、30日	産 婦 人 科	三 輪	13日、14日
	五 嶋	6日、8日、29日		齋 藤 真	15日、16日
	重 本	5日、9日、23日、30日		長谷川徹	9日
	岩 井	1日	小 児 科	橋 本	26日、27日、28日
形 成 外 科	藤 田	14日、16日、23日		平 井	9日
	宮 下	5日～8日	眼 科	山 田	8日、9日
皮 膚 科	野 村	14日、15日、16日	耳鼻いんこう科・頭頸部外科	児 島	9日～
麻 酔 科	松 浦	9日	歯 科 口 腔 外 科	寺 島	15日、16日

※その他、急に不在となることがありますのでふれあい地域医療センターまでお問い合わせください。TEL 076-422-1112 (代) 内線2168

編集後記

もうすぐ盛夏を迎えますが、昨年のうだるような暑さに加え、局地的な大雨や豪雨が思い出されます。豪雨からの土砂崩れや洪水という災害に対して、各地で防災訓練など催されている中、我が子の通う小学校や保育園でも月1回は組み込まれており、子ども達からも我が家の避難場所などを聞かれることがあります。

海水浴やキャンプなど夏のイベントが多い時期、熱中症対策だけでなく、不安定な天気の際に発信されている防災情報を有効に活用し、災害対策を考えていきたいものです。

ふれあい地域医療センター 笹山 知香子



作：病院ボランティア 篠崎 佳子

「れんけいと支援」に関するお問い合わせは、ふれあい地域医療センターまでご連絡ください。送付を希望されない方はお申し出ください。

TEL 076 (422) 1114 / FAX 076 (422) 1154

メールアドレス fureairenkei@tch.toyama.toyama.jp

ホームページ <http://www.tch.toyama.toyama.jp/> がん何でも相談室：メールアドレス shien@tch.toyama.toyama.jp

